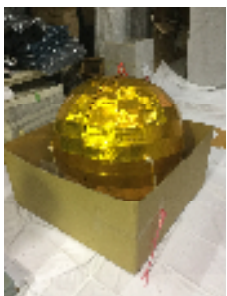


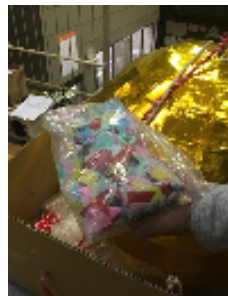
くす玉 900サイズ 設置手順

①商品が手元に届く



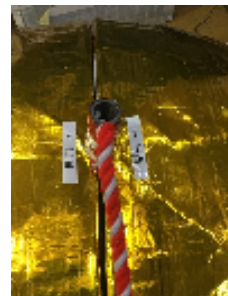
1.2m角程度の箱にてお渡し。

②箱の中身



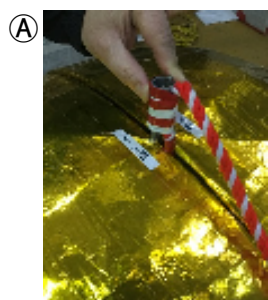
くす玉 900サイズ 1個
引き紐(依頼本数)
引っ掛ける紅白棒(折畳式) 1本
垂幕 (弊社にてご購入の場合のみ)
紙ふぶき(不要の指示の場合は無し)

③くす玉の確認

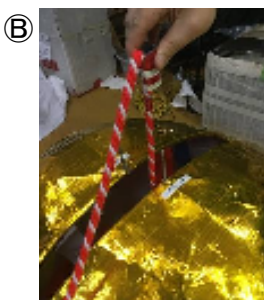


箱を開けたら、くす玉の正面を確認する。
垂幕をセットする際に重要です。
矢印側が正面となります。

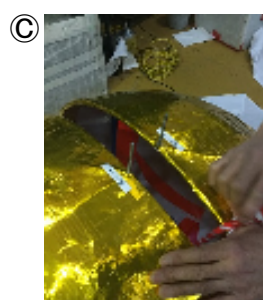
④くす玉を開く



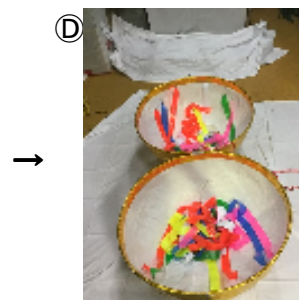
くす玉を箱から出します。
写真①の様につまみを持つ。



写真②の様に上に引っ張る。
中にバネが入っているので
少し引っ張られる感じがりますが
上にゆ7っくり引いてください。

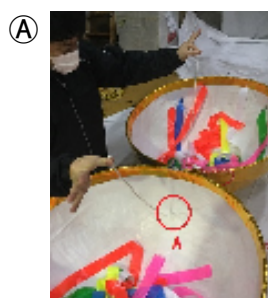


つまみが取れると
くす玉が開きます。

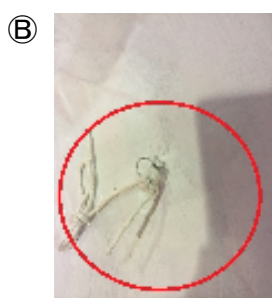


くす玉が開きました。

⑤垂幕を取り付ける



中を見ると写真①があります。
拡大した物が写真②です。
写真②にある針金の輪に垂幕を結びます。
輪に付いている紐と結んでも良いです。



⑥垂幕の設置向き



垂幕を梱包から出します。
垂幕が汚れないように
手が綺麗か確認する。

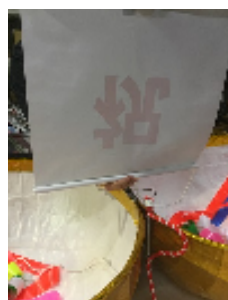


くす玉に付いている【←正面】
となっている矢印側に
今回は設営スタッフが座り
結ぶ作業を行ないます。

※ココが凄く重要！！



垂幕の印刷面が正面になっているか
少し開いて確認をする。
今回は正面になる側にスタッフが居るので
自分側に印字がある事を確認。



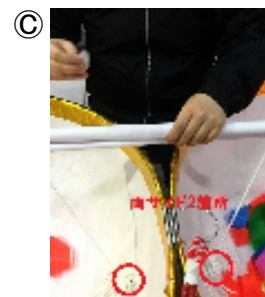
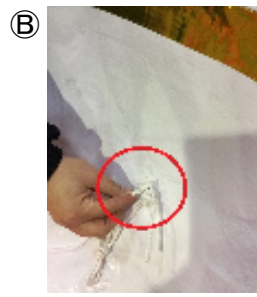
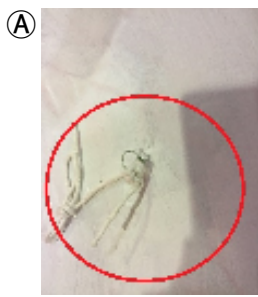
因みにこちらが裏側です。

⑦垂幕を結ぶ



向きの確認をしたら、仮留めしてあったテープでもう一度垂幕を止める。止めないと垂幕が開き作業しづらいです。

⑧結ぶ場所

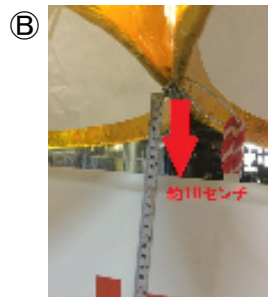


くす玉の内側にある針金の輪に写真⑧の様に垂幕紐を通し結ぶ。両サイド2箇所。(写真③参照)今回は針金輪に直接結びます。※垂幕の調整をするのでこの時は普通に結び調整が終わったら取れないようにしっかりと結ぶ。

⑨結ぶコツ



くす玉と垂幕が水平になるように片側を結んだら調整しながらもう一方の長さを決めて結ぶ。長さが違うと垂れた時に垂幕が曲がってしまう。



今回は結んだ輪から垂幕上部まで垂直に約30センチ(写真⑨参照)くす玉枠から垂幕まで約10センチ(写真⑩参照)となるように結びました。

⑩蓋を閉じる

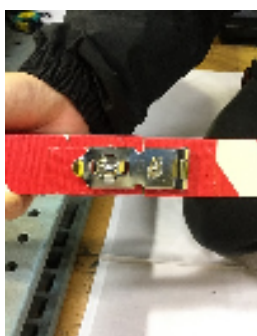


垂幕に付いている仮留めテープを外しくす玉の中央に置く。紙ふぶきを使用する場合はこの時に袋から出し中に入れる。



くす玉を閉じてくす玉から出ている針金につまみをセットする。

⑪紅白の取り付けバーを組立てる



折畳んであるバーを延ばすと留金具があります。金具を留めて1本のバーにする。



バーの両サイドにくす玉を引っ掛けるフック(青丸)があります。フックを下向きにして吊り下げる予定の対象物へしっかりと固定する。(緑丸)

⑫くす玉をバーにセットする



くす玉から出ている両サイドの紐を
紅白バーに引っ掛ける。
吊るしたときに→の方向が必ず正面になるように
確認しながらセットしてください。
向きが違くと垂幕が裏側になります。

くす玉を引っ掛けて上へ上げる際には
両サイドで支えながら上げて行く。

⑬くす玉を割る！



割る前に、もう一度確認。
紐を引っ張る人側に【正面→】が向いているか。
向いていればOKです。
紐を引き、くす玉を割る。

無事に割れました！。
垂幕の位置や、くす玉の高さ・バランス等を
事前に何回か割って必ず確認してください。

事前のテストの際は紙ふぶきを入れず
に行ってください。
拾い集めるのが大変です。

※上記写真はくす玉φ900・垂幕はW500となっております。
通常はφ900の場合垂幕はW800にてご案内となります。